

特定スポーツ支援選手の任命式について

横浜市スポーツ医科学センターでは、横浜市にゆかりがあり、国際大会などを目指すアスリートを「特定スポーツ支援選手」として任命し、競技力向上に向けた支援をしています。

今年度は、横浜市に在住するデフアスリート（聴覚障害競技者）である岡部祐介さんを特定スポーツ支援選手として任命し、平成26年10月4日に当センターで任命式を行いました。

岡部選手は、生まれつき耳が聞こえない「両側感音性難聴」という障害があり、補聴器をつけても、音は聞こえても「ことば」は聞き取れないため、耳で会話の内容を把握することができません。



「障害者だからみんなに負けてしまう。無理だ」と思うこともありましたが、両親や先生のサポートのお陰で、「前向きに強くなって行くぞ」という気持ちを持って、きつい練習でも辛抱して、2013年には、カナダで行われた「トロント世界ろう者陸上選手権」で4×400mリレーの代表に選出され、日本史上初の銅メダルを獲得しました。

当センターでは、今後、スポーツプログラムサービスの受診やLT（乳酸性作業閾値）測定、トレーニングルームの利用など、さらなる飛躍を目指すべく、岡部選手の競技力向上をサポートしていきます。

